

広報

さん

せい

じゅ

山静寿

第17号

2023.11月

Sanseiju



おめでとう ございます



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部山形県済生会

<https://www.yamagata-saiseikai.org>

特別養護老人ホーム **山静寿**

〒990-2474 山形県山形市大字沼木字下河原1133-1
Tel.023-646-3410 Fax.023-647-6670
E-mail: sanseiju@yamagata-saiseikai.org



養護(盲)老人ホーム **山静寿**

〒990-2474 山形県山形市大字沼木字下河原1133-1
Tel.023-645-8300 Fax.023-664-0145
E-mail: mouyogo@yamagata-saiseikai.org





2023年 挨拶

施設長 月澤浩一

立冬の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素変わらぬご理解とご指導を賜り、まことにありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、山静寿におきましても職員が出勤停止となり業務が停滞することもありましたが、お陰様で入居者様からは1名の感染者も出ることなく運営することができております。入国制限も緩和され、外国人観光客も急激に増えている報道等を見ていると、社会活動もコロナ前に戻ってきているように感じられます。現在、私たちは週1回発表される「定点把握」によるデータを確認しながら、毎週感染対策の強弱を検討しております。行動制限や水際対策が緩和された中、社会活動が活発化している状況や定点把握の結果等から、現在は第9波の中にあり基本的な感染予防を継続する必要があると捉えております。引き続き、皆様のご理解とご

協力を、よろしくお願いいたします。

済生会では、これまで平成30年度から令和4年度までを計画期間とする第2次中期事業計画に基づき、「生活困窮者支援の積極的推進」「地域医療への貢献」「総合的な医療・福祉サービスの提供」という3本柱の使命を追究してきました。このたび策定された第3次中期事業計画では、3本柱という使命を引き続き追求するとともに、社会的支援を要する人を含むすべての人が地域社会に参加し、共に生きていくというソーシャルインクルージョンの根付いた社会⇨誰一人取り残さない社会の実現を目指して参ります。また、単年度の施設事業計画では、「顧客」「質」「業務」「学習」の4つの視点に対して更なる質の向上を目指し、ご入居の方々が快適に安心して生活していただける施設作りに努めて参ります。



令和5年度 山静寿 事業計画

施設理念

入居者一人ひとりの生活習慣や好みを尊重し
今までの暮らしが継続できるように支援すること
そして「もうひとつのわが家」を目指す

基本方針



重点目標

視点	目標	評価指標	目標値
顧客	信頼関係の向上	満足度調査	評価「4」以上
	感染防止	感染症罹患患者数	前年度未満
介護の質	専門性の向上	認定特定行為業務従事者	2名以上育成
		認知症介護実践リーダー	1名以上育成
		認知症介護実践者	1名以上育成
		ユニットリーダー	1名以上育成
		キャリア段位者	1名以上育成
		地域包括ケア連携士	1名以上育成
業務	ユニット型特養の更なる前進	24時間シートの整備	全入居者分
	広報強化	山形県第三者評価受審	最上位評価
		ブログの投稿	24件以上(年間)
学習	内部研修の強化	階層別研修	1年目研修
			2~7年目研修
			8年目以上研修
			主任・副主任研修
	学会発表	演題数	7題以上

私たちの生活

ききょう ユニット



カープルーパーと記念撮影♡



皐月のお茶会



子供達が元気に
大きくなりますように

願い事が
かないますように!



七夕会



あなたも食べてみねが?
うまいよ!



納涼会



冷たくて、美味しい!!



織姫様と彦星様に
お願いを書きました♡



かたくり ユニット



満開の桜に
心も踊ります



お花見



ガーデニング

久しぶりの土いじり。
「自分で植えた花は尚更かわいいね!!」

祝・100歳の誕生日。



100歳お祝い



フルーツ羊羹作り



主婦の腕前発揮!
包丁使いは慣れたものです。

夏の甲子園
応援も盛り上がります。



甲子園



七夕飾り。
願いを込めて...

七夕

みずばしょう
ユニット



施設で花見

青空で花見日和



急げ!急げ!
負けないぞ!!

大運動会



願いが
叶いますように☆

何お願いしようかな...

七夕



立派に育ってる



スイカ割大会



みずばしょうガーデン



せーの!
割れる!

やまゆり
ユニット



綺麗だねえ

紫陽花寺



紫陽花寺まわりのライブ

肩もみありがとう

日常



LIVE

花火大会の
ライブ配信を観ました

季節を感じる
七夕飾り



七夕

星に願いを

花火大会



にりんそう
ユニット



いい空で照れるなあ〜♪

花見



鯉のぼり



世の中の
じいもたのびに
おめでとう☆

母の日

プレゼントが届きました



いつまで経っても嬉しいもんだね!

アイス喫茶



たまには
こつこつのもアイス!!

七夕



みんなに届け、願い事☆

冷やし中華作り

中華そば屋になった気分♪
さつしやん!



養護
(盲)



さくら茶と羊かんうまい!

4月 水ようかん行事



5月 輪投げ行事

高得点の的はどこだ?



7月 ビアパーティー行事

暑い時に呑む
ビールはたまらんな!



8月 スイカ割り行事

ここかな? 『えいっ!』



スイカ割り食べている時

みずみずしくて
美味しいな!



移動売店・理美容室の紹介

当施設の理念の中核である「入居者一人ひとりの生活習慣や好みを尊重し、今までの暮らしが継続できるように支援すること」の一つとして、移動売店や理美容サービスを定期的に実施しております。

移動売店は、毎月1回第2水曜日に山形市内の「ファッションこせき」様、山辺町にある「八百藤」様にお世話になっております。毎回たくさんのお菓子や飲み物、そして衣料品等を持参して頂き、3階談話ホールで開店です。職員と一緒に「どれにしようか？こっちがいいな。」等と品定め。毎回売店は盛況で入居者さんは買い物を楽しみにしています。

理美容サービスは、理容室（カットクラブ様）が毎月曜日、美容室（ZUMI美容室様）が毎週金曜日に来所。2階談話ホールで理美容師さんと会話する等和やかな雰囲気の中、好みの長さやスタイルにカットしてもらっています。仕上げが終わって、できあがり鏡を見て大満足。

今後も各事業所様からご支援を頂きながら、今までの暮らしを継続できるように環境づくりに努めて参ります。



精神科嘱託医の回診について

高齢者の約5人に1人が認知症またはその予備軍と言われる中、当施設においても平成23年4月の開所より施設の精神科嘱託医として専門医との契約を行い、入居者の精神科分野での診察・処方や対応に関する助言などを頂いています。平成23年から26年までは山形厚生病院、そして平成27年からは現在お世話になっている山形さくら町病院より月2回回診に来て頂いております。本年7月までは沢村千里先生、8月より金澤さやか先生にバトンタッチし入居者様に携わって頂いており、毎月第1・3水曜日午後に来所され医務室看護師から入居者様の状態について報告を受け、診察や内服薬などの調整を行なっております。認知症の周辺症状を診ながら、入居者様が施設での生活を継続する事ができるよう入院加療の必要性の判断をしていただく事もあります。

今後も嘱託医との連携を密に行い、入居者様がより一層安心して生活していただけるよう支援を進めてまいります。



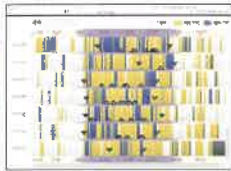
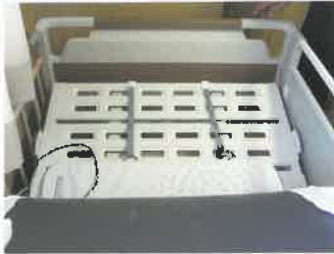


令和5年3月、山形県介護ロボット導入支援事業費補助金を活用し、【眠りSCAN】10台を導入いたしました。【眠りSCAN】は、長方形（78×24・5cm）のセンサー付マットを入居者様のマットレスの下等に敷く事で体の動き（寝返り・呼吸・心拍など）を検出し、入居者様の睡眠・覚醒・起き上がり・起床などをパソコンやスマートフォンにリアルタイムで通知してくれる製品です。

導入から5か月程が経過しますが、睡眠状況が把握できることで眠りの状態に合わせて排泄ケアに入る事ができるようになりました。

また、入居者様の生活リズムも改善され、離床して頂く時間の変更等にも役立っています。また、呼吸や心拍数で入居者様の急変などが無い事を確認できる事で夜間帯の職員の精神的負担軽減も図られています。

今後も入居者様の生活リズムの確認、夜間の睡眠状況のデータの活用を行い、日中・夜間のケアを見直す事で入居者様の睡眠の質の向上に努めていきたいと思っております。



》令和4年度 特別養護老人ホーム山静寿決算書

事業活動計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位：円)

サービス活動収益	509,714,727
サービス活動費用	530,256,553
サービス活動増減差額	△ 20,541,826
サービス活動外収益	252,955
サービス活動外費用	1,402,063
サービス活動外増減差額	△ 1,149,108
経常増減差額	△ 21,690,934
特別収益	1,915,570
特別費用	1,915,570
特別増減差額	0
当期活動増減差額	△ 21,690,934
前期繰越活動増減差額	307,223,954
当期末繰越活動増減差額	285,533,020
次期繰越活動増減差額	285,533,020

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部	
流動資産	196,016,463
固定資産	787,178,752
基本財産	710,114,814
その他の固定資産	77,063,938
資産の部合計	983,195,215
負債の部	
流動負債	76,234,331
固定負債	389,248,920
負債の部合計	465,483,251
純資産の部	
国庫補助金等特別積立金	232,178,944
次期繰越活動増減差額	285,533,020
(うち当期活動増減差額)	△ 21,690,934
純資産の部合計	517,711,964
負債及び純資産の部合計	983,195,215

》令和4年度 養護（盲）老人ホーム山静寿決算書

事業活動計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位：円)

サービス活動収益	157,322,847
サービス活動費用	163,934,675
サービス活動増減差額	△ 6,611,828
サービス活動外収益	417
サービス活動外費用	671,898
サービス活動外増減差額	△ 671,481
経常増減差額	△ 7,283,309
特別収益	0
特別費用	924,000
特別増減差額	△ 924,000
当期活動増減差額	△ 8,207,309
前期繰越活動増減差額	45,126,793
当期末繰越活動増減差額	36,919,484
次期繰越活動増減差額	36,919,484

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部	
流動資産	6,307,232
固定資産	413,747,646
基本財産	407,076,276
その他の固定資産	6,671,370
資産の部合計	420,054,878
負債の部	
流動負債	29,817,019
固定負債	245,425,000
負債の部合計	275,242,019
純資産の部	
国庫補助金等特別積立金	107,893,375
次期繰越活動増減差額	36,919,484
(うち当期活動増減差額)	△ 8,207,309
純資産の部合計	144,812,859
負債及び純資産の部合計	420,054,878



養護

「サウンドテーブルテニス (STT)」について

養護(盲) 老人ホーム山静寿では、入所者の方々の余暇時間の取り組みとして、サウンドテーブルテニスを行っています。

サウンドテーブルテニスとは、金属の球が入ったピンポン球を使った卓球のことで、ラバーが貼られていない木製のラケットを使用して球を転がすようにして打ち合います。球が転がった際に鳴る音や、球を打った際に鳴る音を頼りにプレーするため、視覚障がい者の方でも楽しむことができるスポーツであり、入所者の皆さんも好んで取り組まれるレクリエーションのひとつとなっています。



プレー中は音を聞き分ける集中力が求められるため、入所者の皆さんの表情は真剣そのもの。力の加減や打ち返す角度など、皆さん思い思いにプレーして汗を流されています。職員は球拾いや、卓球台までの移動を支援し、円滑に取り組んでいただけるようバックアップしています。

今後も入所者の皆さんに運動の機会を提供できるよう努めて参ります。

養護

おりがみ行事について



6月21日(木)におりがみ行事を行いました。

今回おりがみで兜を折っていただくこと、初めておりがみ行事を起案しました。

兜は、エンジェルスの大谷翔平選手がホームランを打った時にかぶる兜をイメージしました。

視覚障がいの方がおりがみを折る事が出来る様にするにはどのようにすれば良いかを考え、手先の器用な入居者の方に手伝って頂き予め折り目をつけおく工夫をしました。

行事当日は、おりがみの用紙を統一した向きに置くよう

にし、職員が折り方を一つ一つ分かりやすく説明し入居者の方々と共にそれぞれ折る事が出来ました。

完成した兜のおりがみは、入居者自らがぶりカメラに向かってポーズをとって頂き、また、大谷翔平選手の活躍を語り合う等し、それぞれ楽しまれていたようです。

兜が完成した後は、大きな大福です。こちらもまた大変好評で「今まで食べた中で一番おいしい」「もっと食べたい」と入居者の方々の笑顔がみられました。

山静寿の精神 仁 …深い愛で相手の立場を思いやり、広い心で受け入れる。

特別養護
老人ホーム
山静寿

(施設理念)

「入居者一人ひとりの生活習慣や好みを尊重し、今までの暮らしが継続できるように支援すること」そして「もうひとつのわが家」を目指す。

(ビジョン)

「私たちが受けたサービス」「私たちが入りたい施設」を作る。

養護(盲)
老人ホーム
山静寿

(施設理念)

入所者一人ひとりの生活習慣や好みを尊重し、より良い暮らしができるように支援する。

(ビジョン)

「愛を感じられる、安全・安心な我が家」を作る。

基本方針 『愛(思いやり)』『願い(生きがい)』『支え合い(協調)』『共生(平等)』

苦情解決委員会

(令和5年3月~令和5年9月)

《特養》職員の接遇について

回答:この度は、職員の接遇について不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ございませんでした。入居者様からのご意見を真摯に受け止め、職員の教育を徹底し、今後はこのようなことがないように努めてまいります。

随時、特別養護老人ホーム及び養護(盲)老人ホームの施設見学並びにボランティアの募集を受付していますので、ご希望の場合は下記担当者へご連絡をお願いいたします。

担当

特別養護老人ホーム山静寿 業務主査 有澤 TEL 023-646-3410
養護(盲)老人ホーム山静寿 管理課長 井上 TEL 023-645-8300

(新型コロナウイルスの感染状況に応じて、受け入れできない場合がございます)